

作業療法技術学演習Ⅰ

[演習] 第1学年 後期 必修 1単位

《履修上の留意事項》面接授業のみ実施

《担当者名》○浅野雅子 岩瀬義昭 近藤里美

【概 要】

作業療法技術の一つとして位置づけられる作業活動について、その基礎となる基礎作業学の内容および“作業”の価値や利用、作業療法と“作業”の関係性や作業分析の構造などについて講義を通して学ぶ。同時に、作業療法の治療手段として用いる代表的な作業活動を実際に経験し、臨床場面で作業活動を治療として実施するにあたり必要な知識や技術を身につける。

【学習目標】

<一般目標>

- ・作業療法における基礎作業学の内容と作業の利用について理解する。

<行動目標>

1. 作業療法と“作業”の基本概念を説明することができる。
2. “作業”が作業療法で用いられる理由を説明できる。
3. 作業分析の構造について説明することができる。
4. 演習で実施する作業活動について、その特性を説明することができる。
5. 演習で実施する作業活動について、一般分析を行うことができる。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1) 2	作業分析とその構造 作業活動：籐細工①② 根締め・底部編み	・オリエンテーション ・籐細工における道具・材料の特性を理解する ・籐細工の作成工程を体験し、作業活動の特性および安全管理について理解する	浅野雅子
3) 4	作業活動：籐細工③④ 側面編み・縁留め	・籐細工における道具・材料の特性を理解する ・籐細工の作成工程を体験し、作業活動の特性および安全管理について理解する ・籐細工の提示および指導ができる	浅野雅子
5) 6	作業活動：皮革細工①② 裁断・デザイン	・皮革細工における道具・材料の特性を理解する ・皮革細工の作成工程を体験し、作業活動の特性および安全管理について理解する	浅野雅子
7) 9	作業活動：皮革細工③④⑤ 染色・縫製など	・皮革細工における道具・材料の特性を理解する ・皮革細工の作成工程を体験し、作業活動の特性および安全管理について理解する ・皮革活動の提示および指導ができる	浅野雅子
10) 11	作業活動：音楽①②	・音楽を療法的に用いるにあたり、その基礎について体験を通して学ぶ ・音楽活動における道具・材料の特性や安全管理について理解する	近藤里美 浅野雅子
12	作業活動：園芸①	・園芸を療法的に用いるにあたり、その基礎について体験を通して学ぶ ・園芸活動における道具・材料の特性や安全管理について理解する	浅野雅子
13) 15	一般分析①～③	・工程分析の過程を列記できる ・分析の相・点を理解する ・経験した作業の工程を分析できる ・作業に必要な要素を列記できる ・運動分析と関連づける ・運動に係る各要素を列挙する ・関与する筋を同定できる ・関節運動の方向を理解できる ・姿勢と身体部位の関係から筋活動の種類を理解できる	岩瀬義昭

【評価方法】

作品提出 50%（藤細工、皮革細工、各20%、園芸10%）

定期試験 50%（一般分析40%、音楽10%）

試験の詳細については適宜担当教員に確認すること。

【備考】

教科書：小林夏子 他 編 「標準作業療法学（専門分野）基礎作業学（第2版）」 医学書院 2011年

参考書：山根寛 他 「ひとと作業・作業活動」 三輪書店 1999年

日本作業療法士協会 編 「作業—その治療的応用（改訂第2版）」 協同医書出版 2003年

古川宏 監 「作業活動実習マニュアル（第2版）」 医歯薬出版 2018年

【学習の準備】

多くの道具や材料を用いますので細心の注意を払って参加し、各作業活動で作成する作品は必ず仕上げて提出してください。
各回ごとに資料やノートなどを整理し、予習・復習を行ってください（各80分）

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

（DP3）作業療法士として必要な科学的知識や技術を備え、心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、地域包括ケアの視点から適切に対処できる実践的能力を身につけている。

【実務経験】

浅野雅子（作業療法士・音楽療法士）、岩瀬義昭（作業療法士）、近藤里美（音楽療法士）

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関での臨床経験を活かし、講義を行う。